

第13回 EST普及推進フォーラム実施概要

EST(Environmentally Sustainable Transport: 環境的に持続可能な交通)の普及促進を図るため、ESTの取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第13回 EST普及推進フォーラム」を開催した。また、「第13回 EST交通環境大賞※」の表彰を本フォーラムの中で行った。基調講演にてモビリティ革命が脱炭素化を実現する条件を学び、受賞講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにて地域一体となって取り組む交通のカーボンニュートラルについて検討した。

当日は、EST・交通環境対策について関心を持つ方々を中心に98名が参加した。フォーラム、表彰式の模様は2023年7月19日のデーリー東北、十勝毎日新聞、2023年7月24日の交通毎日新聞、2023年8月21日の北海道新聞で記事として掲載された。また、T-PLAN 株式会社・一般社団法人姫島エコツーリズム、鹿追町が受賞した旨は2023年6月1日の日経BPに、T-PLAN 株式会社・一般社団法人姫島エコツーリズムが受賞した旨は2023年6月5日の東京交通新聞、2023年6月20日の大分合同新聞に、奥入瀬溪流利用適正化協議会・奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト実行委員会が受賞した旨は2023年7月14日の東奥日報に記事として掲載された。

※地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が2009年度に創設した表彰制度。

日時:2023年7月18日(月) 13:30~17:10
 会場:ルポール麹町「ロイヤルクリスタル」(東京都千代田区平河町2-4-3)
 主催:EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
 後援:国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、
 公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会、
 一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会



←開催風景

広報チラシ→



「第13回 EST普及推進フォーラム」開催ご案内
 ~地域一体となって取り組む交通のカーボンニュートラル~



※受賞した地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が2009年度に創設した表彰制度。

EST(Environmentally Sustainable Transport: 環境的に持続可能な交通)の普及促進を図るため、ESTの取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第13回 EST普及推進フォーラム」を開催します。
 また、「第13回 EST交通環境大賞」※の表彰を本フォーラムの中で行います。
 基調講演にてモビリティ革命が脱炭素化を実現する条件について学び、受賞講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにて地域一体となって取り組む交通のカーボンニュートラルについて検討します。
 EST・交通環境対策の最新情報入手し、優良事例を共有した上で、現状の課題を検討する絶好の機会となりますので、皆様参加をお待ち申し上げます。

※ 地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が2009年度に創設した表彰制度。

日時: 2023年7月18日(火) 13:30~17:10 (13:00 受付開始)
 会場: ルポール麹町 2階「ロイヤルクリスタル」
 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-4-3
 主催: EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
 後援: 国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、
 公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会、
 一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会



開会挨拶・基調講演・表彰式

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、国土交通省、環境省からの開会挨拶のあと、基調講演が行われた。基調講演に続き、第13回 EST交通環境大賞の表彰式が行われ、国土交通省岩城次長、環境省酒井課長、EST普及推進委員会 加藤委員長から各賞授与 及び、加藤委員長から審査講評が行われた。

○開会挨拶

岩村 敬 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 会長
岩城 宏幸 国土交通省総合政策局 次長
酒井 雅彦 環境省水・大気環境局 モビリティ環境対策課長



○基調講演

「モビリティ革命が脱炭素化を実現する条件」

加藤 博和 名古屋大学大学院環境学研究科 教授



○表彰式

【大賞 国土交通大臣賞】 T-PLAN株式会社、
一般社団法人姫島エコツーリズム

【大賞 環境大臣賞】 鹿追町
【優秀賞】 世界遺産石見銀山大森地区に
おけるGSMを中心とした地域内交通
整備事業コンソーシアム

【奨励賞】 奥入瀬溪流利用適正化協議会、
奥入瀬溪流エコツーリズム
プロジェクト実行委員会

【奨励賞】 城崎温泉交通環境改善協議会

【奨励賞】 和歌山県



受賞団体講演・受賞団体ミニ講演

休憩の後、受賞団体から受賞団体講演・受賞団体ミニ講演が行われた。

○受賞団体講演

大賞

「離島の課題に再エネと小型EVを活用した取り組み」

佐藤 篤司 T-PLAN株式会社 取締役副社長

「『家畜ふん尿由来水素』を核としたESTモデル事業」

喜井 知己 鹿追町長



○受賞団体ミニ講演

優秀賞

「世界遺産石見銀山大森地区におけるグリーンスローモビリティ(GSM)『ぎんざんカート』の運行」

遠藤 寛之 株式会社バイタルリード広島支店総合計画部 計画課長

奨励賞

「奥入瀬溪流エコツーリズムプロジェクト」

倉谷 昌臣 青森県県土整備部道路課 主査

「地域一体となった『そぞろ歩きルール』の実施」

西村 総一郎 城崎温泉交通環境改善協議会 会長

「WAKAYAMA8∞ ～サイクリングを活用した、持続可能な観光地づくり～」

林 正尚 和歌山県商工観光労働部観光局 観光振興課長



パネルディスカッション 「地域一体となって取り組む交通のカーボンニュートラル」

コーディネーター：谷口 綾子	筑波大学システム情報系 教授
パネリスト：加藤 博和	名古屋大学大学院環境学研究科 教授
佐藤 篤司	T-PLAN株式会社 取締役副社長
喜井 知己	鹿追町長
下垣 英樹	大田市産業振興部 観光振興課長
倉谷 昌臣	青森県県土整備部道路課 主査
西村 総一郎	城崎温泉交通環境改善協議会 会長
林 正尚	和歌山県商工観光労働部観光局 観光振興課長
大野 浩史	国土交通省総合政策局環境政策課 環境政策企画官
酒井 雅彦	環境省水・大気環境局 モビリティ環境対策課長

【概要】

第13回EST交通環境大賞では、姫島、鹿追町、石見銀山、奥入瀬、城崎温泉のように小さな地域であっても組織・住民等と役割を担い合う等して協働している点、和歌山県はサイクリングの受入環境整備や地域周遊を一体的に推進している点など、地域一体となった取組みが共通点である。さらに大賞の姫島、鹿追町は、エネルギーの自給自足が特徴的である。

我が国では、人口減少と少子高齢化に対応しつつ、カーボンニュートラルも実現するという難しい課題に直面しており、環境的に持続可能な交通への期待が一層高まっている。これら受賞取組みの根底にある協働の秘訣や地域課題解決の考え方がヒントになると考えられる。前半では、受賞団体が地域一体で取り組めた秘訣や今後求められる対策等を伺い、質疑応答で取組みに対する知識を深めた後、後半では、カーボンニュートラルに向けて交通分野で必要となる対策や、今後の展開を伺い、環境的に持続可能な交通に向けて議論した。

